

令和6年8月30日

真庭市議会議長 小田 康文 様

令和6年度 真庭市議会ざっばらんに語ろう実施報告書

報告者(班長) 伊賀基之

| | | | |
|-------|--|--|----|
| 開催日 | 令和6年7月20日(土) 19:00 ~ 21:00 | | |
| 開催学区名 | 河内小学校区 | | |
| 会場名 | 下河内コミュニティハウス | | |
| 出席議員 | 班長 : 伊賀基之 副班長 : 中尾哲雄 班員 : 妹島弘和、森脇正和、小田康文 | | |
| 参加人数 | 20人 (うち議員5人) | | |
| 発言の種類 | 発言の内容 | 会場での対応 | 備考 |
| 質問 | 老人の方に接することが多いが移動に苦労している。ほんの近所へも行きづらい方が多いです。どうしたら良いか。 | 下河内地区はチョイソコを利用させていただきしかありません。この下河内地区のご近所内での移動ということについては、市としては難しい。 | 済 |
| 要望 | 市道の草刈りに大変困っている。舗装等の考えはないか。 | 市道の思いやり事業で市道の草刈りに10メーターあたり20円の補助が出る。市内全体、各種団体も登録されて、その地区で草刈りをして市道を守るというようなことを行っている。過疎債を使いながら少しずつ舗装はしているが市内全域の延長は全部で1300キロほどある。限られた財源を使う中で優先順位をつけて工事をしている。 | 済 |
| 質問 | 少子化の問題 | 河内小学校でも来年の新1年生はいないと聞いている。真庭市の昨年度、真庭市内で出生した昨年度の出生数は194名である。河内小学校の今の在校生は54名と聞いている。来年には複式という学級編成にはならないかもしれないが、その翌年に入学者数が数人だったら、1年、2年で複式学級になる。教育委員会、学校、先生も頑張っており、複式は悪いものじゃないように頑張っている。 | 済 |

| | | | |
|-----|---|---|-----------|
| 質 問 | マイナンバーカード申請に伴う 高齢者利用促進のことをお聞きしたい。医療機関とか、本当にスムーズに行くのか。 | あと数年したら運転免許証もマイナンバーカードと一緒にするという風には聞いている。ただ高齢の方が必要なか言われたら、不明である。しかし自分で動けて 日常生活ができる方には今後持っていただかないと生活がややこしくなるというか、余計な書類が必要だとか、そういったことになるのかなと思う。上手くいくかと言われたら私が答える立場にはない。今後、カルテが電子化され、それも全部その紐づいて動いていく。どこの病院で診察を受けても以前のカルテがやってくる、あるいは調剤情報も一緒についてくるという形になりますから、そういった意味では便利になるんだろうと思う。 | 済 |
| 要 望 | 耕作放棄地と害獣の問題 | 真庭市も害獣駆除に年間 1 億円以上を使っている。花火とか電気柵、複合柵の整備にお金を費やしている。メッシュの上に電気柵をする複合柵が非常に猿には有効である。市も材料費の 2 分の 1 の補助を行っている。害獣の住みか、隠れ家にならないような対策をしてほしい。 | 済 |
| 意 見 | 一部の真庭市職員のモラル、考え方が一般常識から程遠い者がいるがどうにかならぬか。 | 真庭市の職員として採用されてから初任者研修を受け、それから度々何度も職員研修あるいは接遇研修をやっている。気になることがあれば、持ち帰らずに、上司出てこいと言って欲しい。ただ、職員の立場は上でもないし下でもない。そんな対応おかしいだろうとか、そんなものの言い方おかしいだろうと言って下さい。真庭市議会が西河内のコミュニティで意見交換をした時にこんな意見が出たということ、本庁と振興局の来庁者に対する接遇に問題があるんじゃないかということは我々から総務部長に伝えます。 | 総務部長に伝える。 |
| 質 問 | 来年 4 月、真庭市長及び市議会議員の選挙があるが、その定数を減らすことを考えてないのか。 | 議長を除く 23 名で構成する特別委員会を作って、定数のことだけを検討する委員会を作りました。約 1 年掛けて、次の選挙から定数を 22 に減らすことになった。これにつきましては 22 人全員で検討した結果である。その時に基準にしたのが 3 年前の選挙の時の人口を議員数で割ったもので、議員一人当たり約 1800 人と少しかったと思います。それよりも割り込むようなことはやめようということで 22 人になったと結論が出たと聞いている。私はそれを尊重すべき立場であるから、次の選挙から定数 22 名で選挙をやります。議会の役割は執行部の監視である。間違ったことやってないか、変な予算使ってないかを監視しています。ですから自治法によって予算提案権は市長の | 済 |

| | | | |
|-----|---|--|---|
| | | 側にあつて、議決権が議会にあるわけです。予算案や議案がおかしければ我々は修正を申し出るし、ダメなら否決をするしという仕組みが日本の地方自治です。あんまり議員数を減らしすぎて、本当にそれが市民の幸せに繋がるのかというのは疑問に思っている。 | |
| 質 問 | 議会の内容はYouTubeで放映されてないのか。 | 8月1日に発刊される議会だよりに一般質問の項目がある。そこにQRコードを配置しており、それを読み込んだらその議員の個人の質問のやり取りが見られるということ、議会広報でやっている。MITのYouTubeでも議会の本会議の内容は出ているし、議会が終わって2週間後から議会ヘッドラインという議会の委員会とか部会の活動報告が見られるようになっている。 | 済 |
| 質 問 | 真庭市では少子化についてどのように考えているのか。県北にも対策が効果を挙げている市町村があるように聞いているが。 | 真庭市の少子化対策については、昨年度から全庁を挙げて「子供はぐくみプロジェクト」ということでやっている。その中で子供の出産から育児について相談できる子供家庭センターという窓口を作った。そこに行って妊娠しましたと言えば、いろんな情報なり市としての支援などがワンストップで相談でき、育児の悩みについても相談できます。そこには保育士の方もいるので、一生懸命フォローしている。 | 済 |
| 意 見 | 今後真庭高校がどうなるのかなという風な心配を非常にしている。旧久世高校の跡地をもう少し大々的に改装して、例えば介護士とか看護師とかの養成機関をこしらえたらどうかと思うが。 | 真庭高校の看護科には奨学金制度があるが現在全然利用者がいない。利用しにくいようにしているのは、卒業後に真庭市内の医療機関に一定期間勤務してくださいと言う条件です。そういう条件で奨学金を出すと、それを使ってもらえていない。現在そのルールを変えて、例えば奨学金使い、卒業後は東京や関西、都会の医療機関へ行き自分の看護師としての経験を積み、何年か経って戻ってきて、一定期間に市の方で勤務してくれたら奨学金の返済義務はありませんよという制度に改革しようとしている。真庭高校の存続について議会に何ができると問われたら、議会には執行権がないので、これをやれ、これをやりますって言えません。予算編成権も執行権も市長の権限です。ですから執行部から上がってきたものに対して、住民の皆さんに意見を聞いて我々が意見を述べて、これはもっとこうすべきではないか。これならどうしたら良いのかと事を述べてより良い物を目指していくというのが執行部と議会の関係である。座して死を待つというようなことはやっていない。今できること | 済 |

| | | | |
|----|--|---|---|
| | | を市長も議会もやっていることをご理解いただきたい。 | |
| 意見 | 全国から人が呼べるような魅力のある施設を作ったらなんとかなるんじゃないかなと思うが。前向きな格好でそういうことにお金を使ってほしい。 | 美術館についてはこれまでも各議員から一般質問で美術館が必要であるという提案はありました。それに対しての市長の答弁は毎回一緒である。市内のどこに設置すれば良いか。市内のどこに設置しても地域間で揉めるであろうと市長の頭にあると思う。もう少し市民の方から何らかのムーブメントがあれば考えられるのにと答弁したと思う。美術館を落合作ったら久世の人が黙っていますか。勝山に作ったら落合の人が黙っているかということを考えているようだ。そのようなことがあってなかなか物事が前に行っていないのが現状です。 | 済 |
| 質問 | 姫新線を残すためにどういう運動をしているのか。 | 真庭市議会も津山とかと一緒にあって、JR線の存続を目指す協議会を作っている。姫新線の存続のために何ができるのかと言うときに、多分JR西日本に何を言っても多分ダメなんだろうと思う。成り立ちは色々ありますけども、民間企業です。国に、日本の姿の在り方、地方のあり方、地方に住む人々の生活のあり方、この線路を切ってしまうたら中山間地は全部消滅可能都市になってしまう。それを分かってあなたたちはやっているのかという事を国会議員とか国交省にどんどん言っていくべきだと考えている。 | 済 |
| 質問 | JR西日本株を1億円で取得したという記事が載っていた。これはJR西日本に対してどういう意味があるのか。 | 1億円で株を買いましたが、これはJR西日本の発行株式が1兆4000億円分あるので、持ち株比率としては0.006パーセントです。株主総会での議案の提案権もない。ただ真庭市としてはそういうニュースが出て、JR西日本の株を買うことを予算化したらしいぞ。姫新線の存続についてどんどん意見を言っていくんだというポーズであると思います。我々はどんどんアピールして、世間の皆さんに先ず知っていただく。姫新線のためにこれだけ頑張ってるんだという事を知っていただくことから始めている。だから我々はこうやって意見を言っていくんだという風なポーズだと思っていただいても良いと思う。 | 済 |

| | | | |
|-----|--|--|-----------|
| 質 問 | バイオマス肥料はどんな作物にでも使えるのか、匂いとかはどうか。 | 来年 1 月からバイオ液肥のプラントが本格稼働するが、バイオ液肥は基本的にどの作物でも使える。真庭市でやっていこうとしているのは普通の液肥ではなく、濃縮して散布する液肥になる。濃縮した場合は匂いがかなり少なくなる。濃縮してない液肥よりかなり臭いもなく、液肥自体も少し薄い色になるし、今の液肥だと圃場が大きくないと散布できないが、これは小規模面積の耕作地でも散布でき、かなり利便性が上がっている。 | 済 |
| 質 問 | 人・農地プランから漏れる小面積の農地の再利用についてどう考えるのか。 | この件についてはお預かりして、回答をお返ししたい。 | 後日、返答をした。 |
| 意 見 | コロナで地域の方との生の接触が減り、様々な活動も縮小の一途である。担い手の若い人も減り、元気を出すのがとても難しい。 | 地域おこし協力隊は総務省の事業であるが、都会の方から若い人が地域に入って地域づくり等を支援するという制度がある。3 年間は総務省から給与をいただいて、市の臨時職員的な扱いで地域に住み、地域の方と一緒に行動をして地域づくりを担っていく、あるいはお手伝いをするという仕事をしている。そういった制度を使って、他所から若い人に入ってもらうというのは当然ありだと思う。そうしないと地域が高齢化していくし、若い人多く居ないという中で新しい風を吹かすにはそういった方が必要だと思う。落合振興局に地域振興主幹の職員がおりますから、そこにこういった人材の派遣は無いのかと、まず問い合わせをしていただければと思う。 | 済 |
| 意 見 | 真庭市役所の働き方改革について辞める人が多すぎるのではないかと | これから幹部になる方、課長職とかその手前の方がたくさん辞めているのは知っている。真庭市の職員さん、夜遅くまで残業してますが、この 20 年でやる仕事は多分増えたと思う。事業はどんどん増えていって、市の職員がやることはどんどん増えていっているのに、職員の数は減らしてきている。正規職員は少しずつ減っていき、任期付き職員とかあるいは再任用の方でカバーしてありますが、正規職員で無ければできないことがありますから、正規職員がどんどん疲弊していったという事情がある。働き方改革が叫ばれて久しいが、なかなかそれができていないのが現状だろうと思う。だから行政 DX とかに取り組んでいる。また印鑑を使わない判子レスとか、書かない窓口というものもこれから作っていく。 | 済 |

| | | | |
|-----|---|---|---|
| 質 問 | 小学校、小学生、中学生がどの地域でも減少しているのと一緒に、北房地域のように小学校の統廃合の予定はあるか。 | 現在のところ廃校とかいう話は一切ない。平成 29 年までには小学校の再配置計画があり、統廃合を市教委はやっていたが現在我々は、市長からも教育長からも小学校の統廃合については聞いていない。複式になるかもしれないという問題もあるが、学校の廃校にはならない。 | 済 |
| 質 問 | 中山間であるこの地域、10 年後の予想図はあるか。 | 2040 年に 32,000 人の人口になるという予測で総合計画や人口計画を立ててやっているが、先般の発表ではそれをちょっと割り込むような形になっている。真庭市が今「共生のまちづくり」というのをやっている。これは一時期あったコンパクトシティ構想というのと対極にある考え方である。「共生のまちづくり」とは、住みたいところにいつまでも住めるように生活してもらいましょうというのが大まかな考え方です。ですがこれを実現するのは本当に難しいです。この広い真庭市に広く分かれて住む方々の生活を守るために、行政は必要最低限なことしかしてくれない。皆さんが普通に居住する時の移動やごみ収集とかは市がやります。しかし、どこに住むのも自由だからと言って、あれもこれも市にしてくれってというのは、多分できないと思う。 | 済 |
| 意 見 | 老人施設は職員のなり手が少なく、現職員は高齢になってきている。いよいよ外国の方の手を借りることも考えざるを得ないのか。 | 介護職のなり手不足と高齢化については、言われる通りである。看護師の育成については真庭高校の看護科の生徒に奨学金を出し、卒業した後一定期間真庭地域で働いてもらったら、奨学金の返還は無しで良いという制度を設けているし、保育士さんについても同様な制度を今年から実施している。 | 済 |
| 要 望 | 生ごみの回収がスムーズにできるよう、効率性を重視して考えていただきたい。長期間放置すると臭いの問題が発生すると思うが。 | 来年早々に生ごみ等の資源化施設が本格稼働する。それに合わせて落合地区でも 9 月半ばから家庭で出る生ゴミを、配布済みのバケツの中に入れてゴミステーションに持って行ってもらうようになります。生ゴミは週 2 回、回収に行きます。若干臭いはするが、現在実行している久世地区では特に苦情や大きなクレームありません。逆に言えば、家の中にある方が臭いんで助かっているのご意見を多く聞いている。生ゴミだけをバケツで出すことによって、現在考えられるメリットを話します。可燃ごみ袋の中で生ゴミが 39 パーセント入ってる。現在可燃物収集用の袋 1 枚が 45 リッターで 50 円です。今度は 45 リッターが 66 円に上がるが、生ゴミの 39 パーセントを引いたと考えたら、6 | 済 |

| | | | |
|-----|---|--|-------------------|
| | | <p>掛けで1枚当たり39円ぐらいになる。生ごみだけに限らず、透明ないし半透明の袋でプラスチックとか新聞、段ボールなどは資源ごみとして無料で出せるようになる。</p> | |
| 要 望 | <p>県道垂水追分線 河内バイパスの2カ所に横断歩道設置の申請をしているがまだ決定していない。実現できるように支援をお願いしたい。</p> | <p>横断歩道については県の管理である。公安委員会がありますので、市役所に要望書を提出していただいたら市役所が県に必ず提出する。しばらく待っていただくしかない。どういう状況かというのは確かめて、後ほど返答する。</p> | <p>後日、返答を行った。</p> |
| 要 望 | <p>家主と連絡がつかない空き家に野生動物が住みついて困っている。</p> | <p>真庭市においても空き家を管理する人がまだ元気な時に話し合いをして、その人が亡くなった時にはスムーズな形で家を使わせてもらうという、そういう契約みたいな形に持っているところもあります。ですから、まずは相談していただきたい。空き屋ができた経緯は色々あると思うが、まず市役所に行って現状を説明してほしい。我々には今の所有者が誰か分からないので、市の方からその所有者あるいは相続人に対してしっかり管理をするようにという通知をして欲しいと伝えて下さい。</p> | <p>済</p> |

令和6年8月30日

真庭市議会議長 小田 康文 様

令和6年度 真庭市議会ざつぱらんに語ろう実施報告書

報告者（班長） 伊賀 基之

| | | | |
|-------|---|--|-------------|
| 開催日 | 令和6年8月3日（土） 19:00～21:00 | | |
| 開催学区名 | 米来小学校 | | |
| 会場名 | 目木勤労者研修センター | | |
| 出席議員 | 班長 : 伊賀 基之 副班長 : 中尾 哲雄 班員 : 妹島 弘和 小田 康文 森脇 正和 | | |
| 参加人数 | 8人 (うち議員5人) | | |
| 発言の種類 | 発言の内容 | 会場での対応 | 備考 |
| 要望 | 金屋井手に水が通っていない。大雨の時不安である。 | 現在は耕地面積が非常に少なくなり、また住宅地になっているので水を通していない。大雨の時危険なので、地元と市が協議して、見回りをしっかりやることになっている。 | 済 |
| 要望 | 金屋井手の水利組合は残っているのか。災害時きちんと対応してほしい。 | 水利組合は残っているので、しっかり管理するといわれている。市の建設課にも伝えておく。 | 建設課に伝える。 |
| 質問 | 最終処分場への道路の草刈り、側溝のそうじはどこがするのか。 | 市道ではないが、市道に準ずる形で6月、9月2回草刈りを行っている。 | 済 |
| 要望 | 最終処分場ができるときに、作業道を新設することになっていた。 | 市の方にたびたび新設を申し入れている。 | 済 |
| 質問 | あちこちの作業道が荒れて使えない。なおす補助金はあるのか。 | 原材料支給補助金がある。すぐに予算がなくなる状態であり、早く要望書を出してほしい。 | 済 |
| 意見要望 | 保育園が入りにくい。遠くの園を指定されて、職場から遠いので入園をあきらめざるを得ない人もいる。それでも、待機ゼロといわれる。特に久世に多い。自宅で保育している母親は多いが、公園なども少ない。子育て広場なども少ない。いつ真庭を出ようかという母親もいる。赤ちゃんと一対一で悶々としている人も多い。周辺市町村はもっと結構いろいろやっている。質を上げて、子育て支援をしないと真庭に残ってもらえない。 | 子育て環境が大きく変わっているが、行政が対応しきれてないという面があると思う。家庭保育に対しては個別の支援制度はない。市内全域に子育て広場は広がっている。勝山にポケットパークが、地元の人と相談しながらできた。少しずつは前進している。保育園への一時預かりの希望はありますが、保育士不足もあって園の体制が十分とれていない。課題だと思う。 | 子育て支援課に伝える。 |

| | | | |
|------------|--|---|------------------------------------|
| 要 望 | 子ども真ん中の行事もあったが、「一日だけの打ち上げ花火では」という母親もいた。自宅保育の母親が、歯医者に行きたい、髪を切りに行きたいというとき、預けるところがない。あっても有料になる。イベントやって終わりではなく、しんどい思いをしている人に届くような政策をしてほしい。 | 隠れ待機の問題ですが、保育園の定数、保育士不足、また年度によって希望数が変わるので、対応の難しい面はある。学童保育にも同じ問題はあると考えている。要望は伝える。 | 子育て支援課に伝える。 |
| 要 望 | 保育園で一時預かりを実施するのではなく、子育て広場にくっつけて、もう一部屋設けて一時預かりをそこでやるというような方向もあるのではないか。 | 市に伝える。令和8年度開設予定の久世第2保育園（仮称）では、一時預かりを実施すると聞いている。 | 令和9年度開園予定の久世第二保育園では一時預かりを実施する。 |
| 質 問 要 望 | 子育て支援課に相談に行っても、あまり専門的な職員がいない。保育園長OBなどの方を配置してほしい。美甘保育園は今年度全員転勤されて、新しく来られた職員が引き継ぎも十分でなく、困っておられ親も不安だった。地域に根差した保育とは言葉だけなのか。他の園でも、全員転勤という例はあったと聞いている。 | 職員配置については市に伝える。美甘保育園の職員移動についても理由を調べる。子育て支援課の中に今年度から「子ども家庭センター」ができ、総合的な相談体制ができつつある。 | 子育て支援課には保育園長OBの職員がおり、その職員を指定してほしい。 |
| 要 望 | 勝山小の学童保育は、学童の部屋から出られない。近くの図書館にも連れて行ってもらえない。 | 勝山小学校の校内での学童保育に代わる予定である。校庭等も使えるようになる。私は文教厚生委員ではないので、詳しくはないですが、今思うのは現在子育てに取り組んでいる皆さんの声が行政に届いていないように感じる。議員が健康福祉部に行って話してもなかなか変わらない。アンケートでなく、実際に話あう場を設けて政策を決めていくべきと考える。 | 済 |
| 意 見 | 市は、〇〇センターとかいろいろ作るが、機能しているとは思えない。ただ、職員が増えているだけだ。人口で見ると津山市は職員一人当たり137～8人、真庭市は職員一人当たり87人。津山市の職員の方が仕事をしている。 | 真庭市の職員が津山市の職員より仕事をしてないかという議論をしても答えようがない。仕事に追い込まれ40代で退職した職員も知っている。職員はまじめに仕事をしている。もちろんクリエイティブな仕事もやらなければいけないので、市民の意見も聞いてほしい。こういう意見があったことは総務部長には伝えます。 | 総務部長に伝える。 |
| 意 見 | 障害児の相談窓口でも、子育て支援課でも、国保の窓口でも専門家がない。突っ込んで聞くと答えが出てこない。真庭市はすぐ課を移動させるのでエキスパートが育っていない。子育て支援の意見が出ているが、せめて奈義町ぐらいはやってほしい。そうす | 発達支援センターや子ども家庭センターには、障がい児教育の専門家や保健師、心理士など専門的な職員が多く配置されている。相談窓口が縦割りであるという声を受けて、くらし安全課や子育て支援課などに総合的な窓口が作られ改善されつつある。さらに重層的な相談窓口ができればと | 済 |

| | | | |
|--------|---|--|---|
| | れば子どもも増える。 | 思っている。エキスパートを育てるということは大事であると考えてる。 | |
| 要 望 | 空き家対策で、取り壊しの補助金が50万円出るが、50万円は何年も前に決めた金額である。せめて100万円程度にしないと効果はない。 | 財政全体としてのなかでの検討が必要と考える。 | まちづくり推進課に伝える。 |
| 要 望 | 子どもの給食費は無料化してもいいのではないか。 | 小中の給食費を無料化すると年間2億円近く必要。これは一回始めたらずっと続けなければならない。今後久世地区だけでも消防本部の建替え、旧遷喬小の建替え、久世公民館、保健福祉センターの建替えなど多くの財政負担がある。何かをするためには、何かを減らさなければならない。 | 教育委員会に伝える。 |
| 要 望 | 給食の無料化より給食の内容を考えてほしい。保育園も給食が配送で、予算的にもこれ以上の内容は無理ですと言われる。保育園に入るとすぐ5・6歳児と同じものが出される。 | 保育園・こども園も何園かのセンター方式なので、内容は同じようになると思う。栄養士は各センター、自園方式のところは園に配置されている。ご意見は市の方に伝えま | 子育て支援課に伝える。 |
| 質 問 | 政務活動費について、どのような使い方をしているのか。しっかり使っている人とほとんど使っていない人がいる。 | 昨年度までの各議員の政務活動費の収支報告書が、市のホームページに掲載されているので、それをみてほしい。多く使われている議員は、議会報告の印刷、郵送費が多い。その他、研修会やフォーラムへの参加費などが多い。 | 済 |
| 要 望 | 勝山のポケットパークについて いろいろ話し合いをして作ってほしいことも多いが補助金だけではできないことがある。中銀側からの入り口のスロープを整備してもらいたい。 | 勝山の公園はこれで終わりということではないので、要望は勝山振興局にあげてほしい。市長もこの公園は育てていくものと言われている。ポケットパークは地域の方々の管理となっているが、市と共同で育てていくものとの趣旨です。 | スポーツ・文化振興課に伝える。 |
| 意見 要 望 | 子ども真ん中まつりについて ファードームという中に入って遊べるものがあったが有料で時間制限があった。内容をもう少し考えてほしい。打ち上げ花火的なイベントになっている。 | 初めてのイベントで、今後も続くので改善できるように担当課に伝える。 | 子育て支援課に伝える。無料にすると特定の子供が長く使うようになりがちなので、50円の有料とし時間制限をつけている。 |
| 質 問 | チョイスコについて 病院などで行くときは予約できるが、帰りの時間についてはどうなっているのか。 | 行くときに帰りの時間も予約していただく。車は病院の前で待っているが、一定の時間が過ぎれば出発します。そのときはもう一度予約連絡をしてほしい。 | 済 |

| | | | |
|------------|---|---|-------------------|
| <p>要 望</p> | <p>小学生になると、学童保育の子は遊び場があるが、自宅の子は遊び場がない。オンラインゲームばかりやっているという現状がある。児童館のようなものを作ってほしいという要望も出してきた。公共の施設の一室を利用して、小学生や中学生が自由に利用できる場所は作れないか。卓球ぐらいのスポーツもできるような。小学校の校庭も利用できない、川遊びもできないということで遊び場がない。</p> | <p>真庭市には児童館はない。恒常的な施設を作ることはなかなか難しい。教育委員会もサマースクールとか子どもの居場所づくりとか取り組まれているが、恒常的なものではない。図書館や文化センターの中にそういうものを作るということも考えられるが職員の配置もいる。課題であると思う。市内の民間団体で、子どもの居場所づくりに取り組んでいるところはいくつかある。</p> | <p>教育委員会に伝える。</p> |
|------------|---|---|-------------------|

令和6年8月30日

真庭市議会議長 小田 康文 様

令和6年度 真庭市議会ぞっばらんに語ろう実施報告書

報告者（班長） 伊賀 基之

| | | | |
|-------|--------------------------------------|--------|----|
| 開催日 | 令和6年8月4日（日） 19:00～19:30 | | |
| 開催学区名 | 北房小学校（旧中津井学区） | | |
| 会場名 | 中津井陣屋 | | |
| 出席議員 | 班長：伊賀 基之 副班長：中尾 哲雄 班員：妹島 弘和 森脇 正和 | | |
| 参加人数 | 4人（うち議員4人） 一般参加者が0人のため、30分で打ち切った。 | | |
| 発言の種類 | 発言の内容 | 会場での対応 | 備考 |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |